

市の組織を変更

～市民サービス向上へ～



4月1日付で市の機構改革を実施します。これに伴い、新しい課ができ、一部の課名や、配置場所・業務の所管が変更になります。なお、新たな配置場所での執務は、4月2日(月)からとなります。
 問合せ 各課へ

★新しくできる課

- 連続立体交差推進課
 ⇒阪急京都線連続立体交差事業の業務を都市計画課から移管し、新館5階・建設部に新設
- 家庭児童相談課
 ⇒子育て支援課の係から課に変更し、新館6階・次世代育成部に新設

★組織・場所の変更

- 自治振興課と市民活動支援課を統合し、自治振興課に自治振興係と市民活動支援係を設置
 ⇒市民活動支援係はコミュニティプラザ内から市役所新館2階へ
- 教育総務部総務課を教育政策課に名称変更
- 教育総務部総務課の市史編さん室を生涯学習課へ移管し、名称を市史編さん係に変更
- 学校教育課と教育支援課を次世代育成部から教育総務部へ移管
- 子育て支援課を教育総務部から次世代育成部へ移管
- 情報政策課の執務室⇒新館4階から新館2階へ
- 産業振興課の執務室⇒新館5階から新館4階へ

PICK UP

新しくできる 連続立体交差推進課って？

4月から、市役所に新しくできる「連続立体交差推進課」。どのような業務を行うのか、内容を簡単にご紹介します。

問合せ 連続立体交差推進課

業務内容 阪急摂津市駅を中心とした阪急京都線の高架化の推進【東西に約2.1km（摂津市域1.5km）】。

現状と課題 阪急摂津市駅周辺の踏切では、慢性的な交通渋滞が発生しており、また、鉄道により地域が分断されていることから、地域活動の支障となっています。

事業の目的 鉄道を高架化し、5カ所の踏切をなくすことで、交通渋滞や事故を解消するとともに、市街地の一体化を図り、消防車などの緊急車両の迅速性を向上させるなど地域の発展に役立てます。



▲線路が高架化する位置図



▲阪急摂津市駅周辺の景色